



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4042 URL http://www.tosoh.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理室長 (氏名) 河本 浩爾 (TEL) 03-5427-5123  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	391,660	16.2	54,501	31.9	58,264	59.1	40,312	62.0
29年3月期第2四半期	337,132	△12.5	41,307	28.5	36,621	12.2	24,881	28.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 44,804百万円(134.8%) 29年3月期第2四半期 19,078百万円(9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	124.17	124.03
29年3月期第2四半期	76.67	76.57

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	791,918	482,199	56.5
29年3月期	782,623	448,335	52.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 447,342百万円 29年3月期 413,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	16.50	24.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合したため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金を12円から24円へ修正し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、12円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	7.7	118,000	6.1	120,000	6.1	82,000	8.4	252.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、126円28銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	325,080,956株	29年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	374,642株	29年3月期	447,442株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	324,662,900株	29年3月期2Q	324,518,522株

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成29年11月7日(火)に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
3. 補足情報	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、欧米諸国の政策動向や北朝鮮情勢を始めとする地政学リスクなど、わが国を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、ナフサ等の原燃料価格の上昇に伴う石油化学製品の価格上昇や海外製品市況の上昇により、3,916億60百万円と前年同期に比べ545億28百万円（16.2%）の増収となりました。営業利益については、販売価格の上昇が原燃料高の影響を上回り交易条件が改善したこと等により、545億1百万円と前年同期に比べ131億94百万円（31.9%）の増益となりました。経常利益については、為替差損益が前年同期の差損から差益に転じたことにより、582億64百万円と前年同期に比べ216億42百万円（59.1%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、403億12百万円と前年同期に比べ154億31百万円（62.0%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### 石 油 化 学 事 業

エチレン、プロピレン等のオレフィン製品は、非定修年による生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。また、ナフサ価格等の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内出荷が増加し、ナフサ価格の上昇を反映して国内価格が上昇いたしました。クロロブレンゴムは、好調な海外需要に牽引され出荷が増加し、輸出価格も上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ159億23百万円（21.8%）増加し888億97百万円となり、営業利益は前年同期に比べ29億83百万円（40.9%）増加し102億75百万円となりました。

#### ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、出荷が堅調に推移し、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

セメントは、国内輸出とも出荷は堅調に推移いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、出荷は減少しましたが、輸出価格は海外市況を反映して上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ298億57百万円（23.7%）増加し1,560億11百万円となり、営業利益は交易条件の改善により、前年同期に比べ114億91百万円（85.7%）増加し249億2百万円となりました。

#### 機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、中国・アジア向けの出荷が減少いたしました。

計測関連商品は、欧州向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、体外診断用医薬品の出荷が減少いたしました。

ハイシリカゼオライトは、北米向けの石油化学触媒用途の出荷が減少いたしました。ジルコニアは、歯科材料用途や装飾品用途での出荷が増加いたしました。石英ガラスは半導体装置向けの出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ95億46百万円（11.6%）増加し918億94百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ4億56百万円（2.5%）悪化し178億55百万円となりました。

## エンジニアリング事業

水処理事業においては、国内では一般産業分野で、海外では台湾の電子産業分野で、工事進捗の遅れの影響等により売上高は減少いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ17億76百万円（4.8%）減少し348億68百万円となり、営業利益は前年同期に比べ8億80百万円（80.8%）悪化し2億8百万円となりました。

## その他事業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ9億78百万円（5.1%）増加し199億88百万円となり、営業利益は前年同期に比べ56百万円（4.7%）増加し12億59百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、投資有価証券、受取手形及び売掛金の増加等により、前期末に比べ92億95百万円増加し7,919億18百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、有利子負債の減少等により、前期末に比べ245億68百万円減少し3,097億19百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ338億63百万円増加し4,821億99百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済は外需主導の成長から民間消費などの内需主導の成長に移行しており、年度末にかけて緩やかな景気拡大が続くと見込まれます。しかしながら、国際情勢は依然として不確実性の高い状況が続くと予想され、それを起因とする世界経済の減速や円高進行、原燃料価格の上昇等が、当社グループの業績変動リスクになると考えております。

このような環境の下、販売数量の拡大、コスト低減、需要への安定供給等、収益力の維持・強化に向けてあらゆる施策を実施してまいります。

通期の業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。

なお、通期業績における下期の前提については、国産ナフサ価格を43,000円/KL、為替レートを110円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	770,000	100,000	100,000	68,000	209.47
今回修正予想 (B)	800,000	118,000	120,000	82,000	252.57
増減額 (B-A)	30,000	18,000	20,000	14,000	
増減率 (%)	3.9	18.0	20.0	20.6	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	743,028	111,216	113,094	75,664	233.12

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

詳細につきましては、本日公表しました「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,813	76,091
受取手形及び売掛金	199,540	206,753
商品及び製品	81,699	82,039
仕掛品	7,981	10,244
原材料及び貯蔵品	37,678	37,276
その他	36,077	35,231
貸倒引当金	△775	△806
流動資産合計	448,014	446,829
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	69,173	76,620
土地	73,464	73,210
その他（純額）	92,210	88,164
有形固定資産合計	234,849	237,994
無形固定資産	3,531	3,876
投資その他の資産		
投資有価証券	56,108	63,679
退職給付に係る資産	20,211	20,557
その他	20,256	19,334
貸倒引当金	△349	△353
投資その他の資産合計	96,227	103,218
固定資産合計	334,608	345,089
資産合計	782,623	791,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,835	88,542
短期借入金	82,383	83,607
未払法人税等	25,100	18,152
引当金	8,274	10,825
その他	32,293	30,908
流動負債合計	247,886	232,035
固定負債		
長期借入金	57,459	47,718
引当金	2,501	787
退職給付に係る負債	19,282	19,574
その他	7,157	9,603
固定負債合計	86,400	77,683
負債合計	334,287	309,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,719	44,725
利益剰余金	301,820	331,396
自己株式	△360	△322
株主資本合計	401,352	430,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,004	17,936
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△2,464	△3,254
退職給付に係る調整累計額	1,320	1,688
その他の包括利益累計額合計	11,857	16,370
新株予約権	269	282
非支配株主持分	34,855	34,574
純資産合計	448,335	482,199
負債純資産合計	782,623	791,918

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	337,132	391,660
売上原価	245,464	283,491
売上総利益	91,667	108,169
販売費及び一般管理費	50,360	53,667
営業利益	41,307	54,501
営業外収益		
受取利息	75	79
受取配当金	892	1,102
為替差益	-	1,590
持分法による投資利益	1,105	931
その他	941	949
営業外収益合計	3,013	4,652
営業外費用		
支払利息	844	620
為替差損	6,749	-
その他	105	269
営業外費用合計	7,699	889
経常利益	36,621	58,264
特別利益		
固定資産売却益	103	21
投資有価証券売却益	9	4
特別利益合計	113	26
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	662	575
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	149	-
減損損失	-	14
特別損失合計	812	591
税金等調整前四半期純利益	35,922	57,700
法人税等	10,763	17,457
四半期純利益	25,159	40,243
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	277	△69
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,881	40,312

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	25,159	40,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,005	4,879
繰延ヘッジ損益	6	5
為替換算調整勘定	△7,227	△937
退職給付に係る調整額	432	420
持分法適用会社に対する持分相当額	△297	193
その他の包括利益合計	△6,080	4,560
四半期包括利益	19,078	44,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,361	44,825
非支配株主に係る四半期包括利益	△283	△21

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	35,922	57,700
減価償却費	14,431	15,732
減損損失	-	14
退職給付に係る資産負債の増減額	470	541
受取利息及び受取配当金	△967	△1,181
支払利息	844	620
為替差損益(△は益)	189	△116
持分法による投資損益(△は益)	△1,105	△931
投資有価証券評価損益(△は益)	149	-
固定資産売却損益(△は益)	△102	△20
固定資産除却損	662	575
売上債権の増減額(△は増加)	2,243	△7,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,274	△2,819
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,594	△11,069
その他	△1,942	5,114
小計	50,475	56,614
利息及び配当金の受取額	1,268	1,645
利息の支払額	△907	△578
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,856	△24,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,980	32,952
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△16,374	△22,080
固定資産の売却による収入	327	68
投資有価証券の取得による支出	△10	△238
投資有価証券の売却及び償還による収入	23	9
貸付けによる支出	△1,333	△1,427
貸付金の回収による収入	1,266	1,245
その他	238	△529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,861	△22,952
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,276	1,240
長期借入れによる収入	3,603	600
長期借入金の返済による支出	△15,285	△10,408
配当金の支払額	△4,532	△10,689
非支配株主への配当金の支払額	△187	△216
その他	△29	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,707	△19,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,533	△128
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,122	△9,700
現金及び現金同等物の期首残高	74,869	85,460
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	105	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,852	75,759

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	72,974	126,153	82,348	36,645	19,010	337,132	—	337,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,520	11,139	5,873	5,419	23,884	79,837	△79,837	—
計	106,494	137,293	88,222	42,064	42,894	416,969	△79,837	337,132
セグメント利益	7,292	13,411	18,312	1,088	1,202	41,307	—	41,307

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	88,897	156,011	91,894	34,868	19,988	391,660	—	391,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,978	12,948	5,711	5,120	25,515	87,274	△87,274	—
計	126,875	168,959	97,606	39,989	45,504	478,935	△87,274	391,660
セグメント利益	10,275	24,902	17,855	208	1,259	54,501	—	54,501

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足情報

**2017年度第2四半期連結決算概要**

平成29年10月31日

東ソー株式会社

## (1) 業績

(単位:億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	増 減	2016年度	2017年度(予想)
売 上 高	3,371	3,917	545	7,430	8,000
営 業 利 益	413	545	132	1,112	1,180
経 常 利 益	366	583	216	1,131	1,200
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	249	403	154	757	820
1株当たり四半期(当期)純利益	76円67銭	124円17銭	47円50銭	233円12銭	252円57銭

(注)平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

## (2) 指標

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	増 減	2016年度	2017年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	105.20	111.04	5.84	108.35	110.52
為替[TTM期中平均](円/EUR)	118.04	126.32	8.28	118.75	128.16
国産ナフサ価格(円/KL)	31,450	37,650	6,200	34,725	40,325

設 備 投 資 額	173	181	8	378	480
減 価 償 却 費	132	143	11	274	300
研 究 開 発 費	70	75	5	144	150
期 末 有 利 子 負 債	1,762	1,313	△449	1,398	1,150
金 融 収 支	1	6	4	0	4
自 己 資 本 比 率 (%)	49.3	56.5	7.2	52.8	58.0
期 末 従 業 員 数 (人)	12,296	12,559	263	12,292	12,500

(注)億円未満は四捨五入

## (3) トピックス

- 2018年 夏 予定 分離精製剤「トヨパール」の生産能力を増強
- 2018年 冬 予定 南陽事業所の発電用ボイラをリプレース
- 2018年 冬 予定 PRII社が塩化ビニル樹脂製造設備の生産能力を増強
- 2019年 春 予定 南陽事業所のハイシリカゼオライト製造設備の生産能力を増強
- 2020年 春 予定 ナフサ分解炉効率化及びガスタービンの設置

## (4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	730	889	159	37	122	—	—
	営業利益	73	103	30	15	—	4	11
クロル・アルカリ	売上高	1,262	1,560	299	23	276	—	—
	営業利益	134	249	115	3	—	126	△14
機能商品	売上高	823	919	95	54	41	—	—
	営業利益	183	179	△5	16	—	△9	△12
エンジニアリング	売上高	366	349	△18	△24	6	—	—
	営業利益	11	2	△9	△8	—	0	△1
その他	売上高	190	200	10	9	1	—	—
	営業利益	12	13	1	0	—	0	0
合計	売上高	3,371	3,917	545	99	446	—	—
	営業利益	413	545	132	26	—	121	△15

(注)億円未満は四捨五入

## (5) 業績予想

(単位:億円)

		2016年度	2017年度(予想)	増 減	2017年度(予想)内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	1,617	1,708	91	889	819
	営業利益	201	199	△1	103	97
クロル・アルカリ	売上高	2,797	3,213	417	1,560	1,653
	営業利益	479	575	95	249	325
機能商品	売上高	1,759	1,832	73	919	913
	営業利益	354	341	△13	179	162
エンジニアリング	売上高	866	849	△17	349	500
	営業利益	51	41	△11	2	38
その他	売上高	391	398	6	200	198
	営業利益	27	25	△2	13	12
合計	売上高	7,430	8,000	570	3,917	4,083
	営業利益	1,112	1,180	68	545	635

(注)億円未満は四捨五入